

# ヤングアダルト通信

VOL.152号 (2019.3)

(発行：碧南市民図書館 0566-41-0894)

## 家族のカタチ



あなたにとって家族ってどんな存在ですか。支えになってくれることもあれば、ときには反発してしまったり…。そんな身近な存在である家族について考えてみませんか。

### 恋の相手は女の子

室井 舞花／著

岩波書店 **Y367Q**

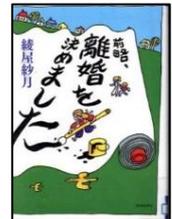


2013年、女性である著者は付き合い合っていた彼女と「新郎のいない」結婚式を挙げました。LGBTである著者が自身の結婚にいたるまでの体験を語ります。

### 前略、離婚を決めました

綾屋 紗月／著

理論社 **Y367ゼ**



著者は幼い子を抱えながらも「離婚」という道を選びました。なぜ、そうなったのかを子ども時代から振り返り、現在にいたるまでをつづります。

### 死にたい、ですか

村上 しいこ／著

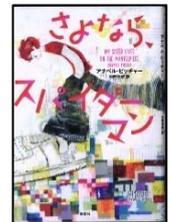
小学館 **YFM**



高校3年生の由愛の兄・典洋は4年前に自殺した。これをきっかけに家族はバラバラになり、まるで沈みかけている船のようになってしまった。由愛はそれを立て直すようにするのだが…。

### さよなら、スパイダーマン

アナベル・ピッチャー／著 偕成社 **Y933サ**



ジェイミーは10歳。5年前に起こった同時多発テロによって姉のローズを亡くすが、彼には正直実感が無い。しかし、この事件のせいで父と母の関係は悪くなり、ついに別々に生活するようになる。父と新しい生活を始めたジェイミーは、転校した学校で、姉を殺したテロの犯人と同じイスラム教徒の女の子と知り合いになる。

### カルテット!

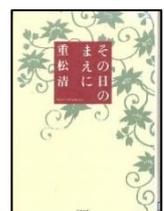
鬼塚 忠／著 河出書房新社 **YFO**



開の家族は、父親のリストラをきっかけにして関係が冷え切ってしまった。彼は、家族で演奏会を開くことを提案し、家族の絆を深めようとする。

### その日のまえに

重松 清／著 文藝春秋 **YFM**



やがて「その日」が来ることを知ってしまった人たち。本人やその家族たちはそれをどう受け止めていくのか。7編の話からなる連作短編集。

## 空へのぼる

八束 澄子／作 講談社 YFヤ



乙葉の両親は、7ヶ月の彼女を置いていなくなっていました。それ以来、15歳上の姉・桐子<sup>きりこ</sup>とおばあちゃんの3人で暮らしている。小学5年生になった乙葉は、学校での「いのちの授業」を通じて、命について考えるようになる。また、同じころ桐子の妊娠がわかる。このことで、乙葉はある日突然いなくなった両親の思いに気付くこととなる。

## 爆笑!おかんからの珍メール・謎メール [1]

メディアソフト YO49バ1



お母さんたちから届いた思わず笑ってしまうメールを集めた本です。

## いいたいことがあります! 魚住 直子／著 偕成社 YFウ

6年生の陽菜子<sup>ひなこ</sup>は「勉強しなさい」や「家事をしなさい」と言ってくるお母さんに不満を感じていた。そんなある日、彼女はスージーという不思議な女の子に出会い、その子の物だと思われる手帳を拾う。思わず中を見てしまった陽菜子だが、そこには普段お母さんに言いたくても口にできなかった自分と同じ気持ちが書かれていたため驚く。



## ユミとソールの10か月

クリスティーナ・ガルシア／著 作品社 Y933コ

ユミのおじいちゃんであるソールは、誕生日を迎えたその日にガンであることがわかった。さらに余命もあと半年ほどだと医者から言われてしまう。それを知ったユミは、ソールがどんな人生を歩んできたのかを聞きたいとたのむ。

## いつも心の中に

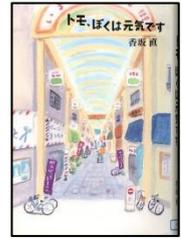
小手鞠 るい／作 金の星社 YFコ



みずきは、5年生のときに突然父親が亡くなってしまった。その悲しみのせいで、学校へ通えなくなってしまい、アメリカに暮らす伯母と共同生活をするようになる。

## トモ、ぼくは元気です

香坂 直／著 講談社 YFコ



障害を抱えている兄・トモの弟・和樹<sup>かずき</sup>は、兄のことをめぐって、家で問題を起こしてしまう。その「罰」として夏休みを祖父母の家で過ごすこととなる。

## ザ・ママの研究

信田 さよ子／著 イースト・プレス Y367サ



ママをタイプ別に分け、それぞれどのように付き合っていけばよいのか解説します。よりママと楽しく過ごすために役立つはず。 「ザ・パパの研究」もありますよ。

## ドリーム・プロジェクト

濱野 京子／著 PHP研究所 YFハ



中学2年の拓真<sup>たくま</sup>は、半年前から祖父と同居している。あるとき、拓真は祖父が前に暮らしていた家を気にしていることを知る。しかし、その家は傷みが進んでおり、修繕をしないと暮らせないのだが、そんなお金はない。そこで拓真とその同級生たちはある方法を使って、この家を直すことを思いつく。

## 担当のつぶやき

今回は家族をテーマにしました。家族のことは自分が中高生の時には、正直ムカつくと思ったこともあります(笑)でも、今ではありがたい存在です。☺